

平成17年6月8日
原子力安全対策課
(17-17)
<17時30分記者発表>

敦賀発電所2号機の原子炉手動停止について (原子炉格納容器内床面等でのホウ酸の発見)

このことについて、日本原子力発電株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

敦賀発電所2号機（加圧水型軽水炉；定格電気出力116.0万kW）は、定格熱出力一定運転中のところ、6月5日に実施した格納容器内監視カメラによる点検で、1次冷却材ポンプ（C）ループ室地下2階床面等に付着物が確認されたことから、翌6日に同室内に入域し、付着物を採取して分析した結果、1次冷却材中に含まれる放射能とホウ酸が確認された。

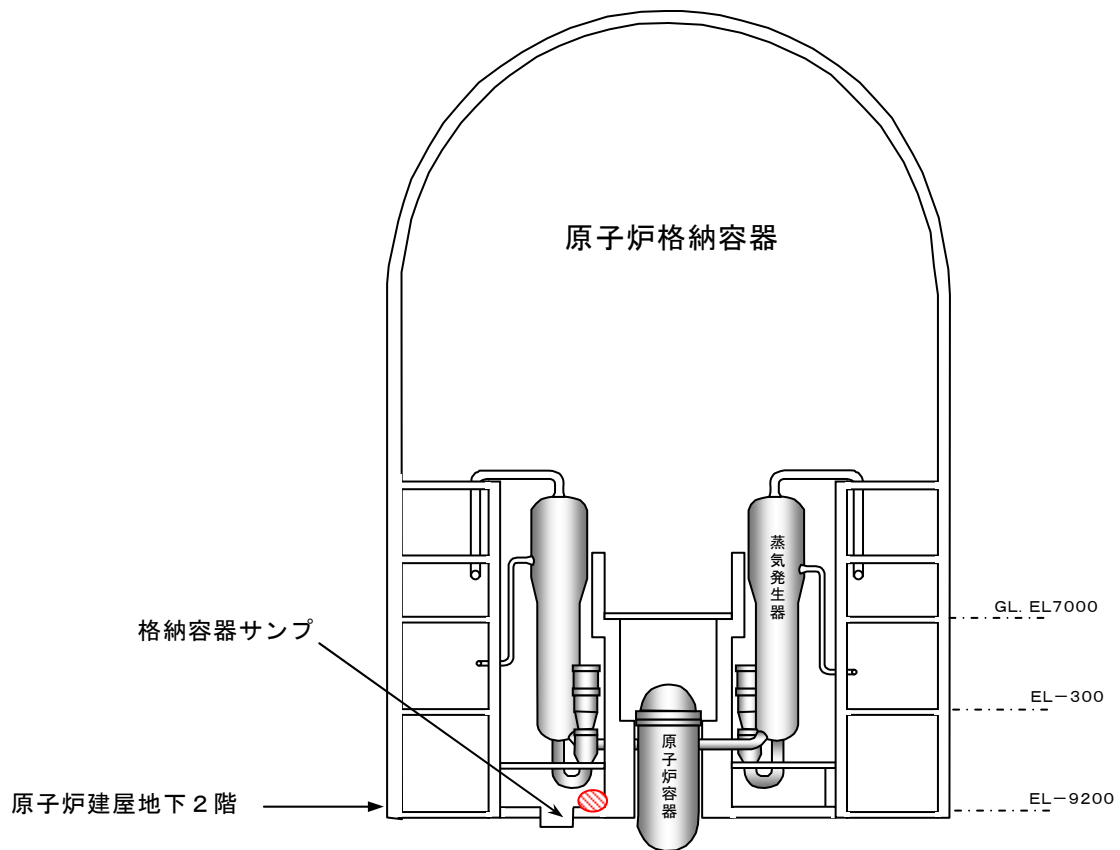
なお、同室内には水たまりや水滴の滴下は認めれず、1次冷却材の漏えいを監視している格納容器サンプ水位や格納容器内の放射線モニタ等に有意な変化は認められていない。

同室内は運転中放射線量率が高いことから、漏えい箇所の特定制や詳細な点検調査を行うため、9日3時頃より出力降下を開始し、9日11時頃発電を停止する予定である。

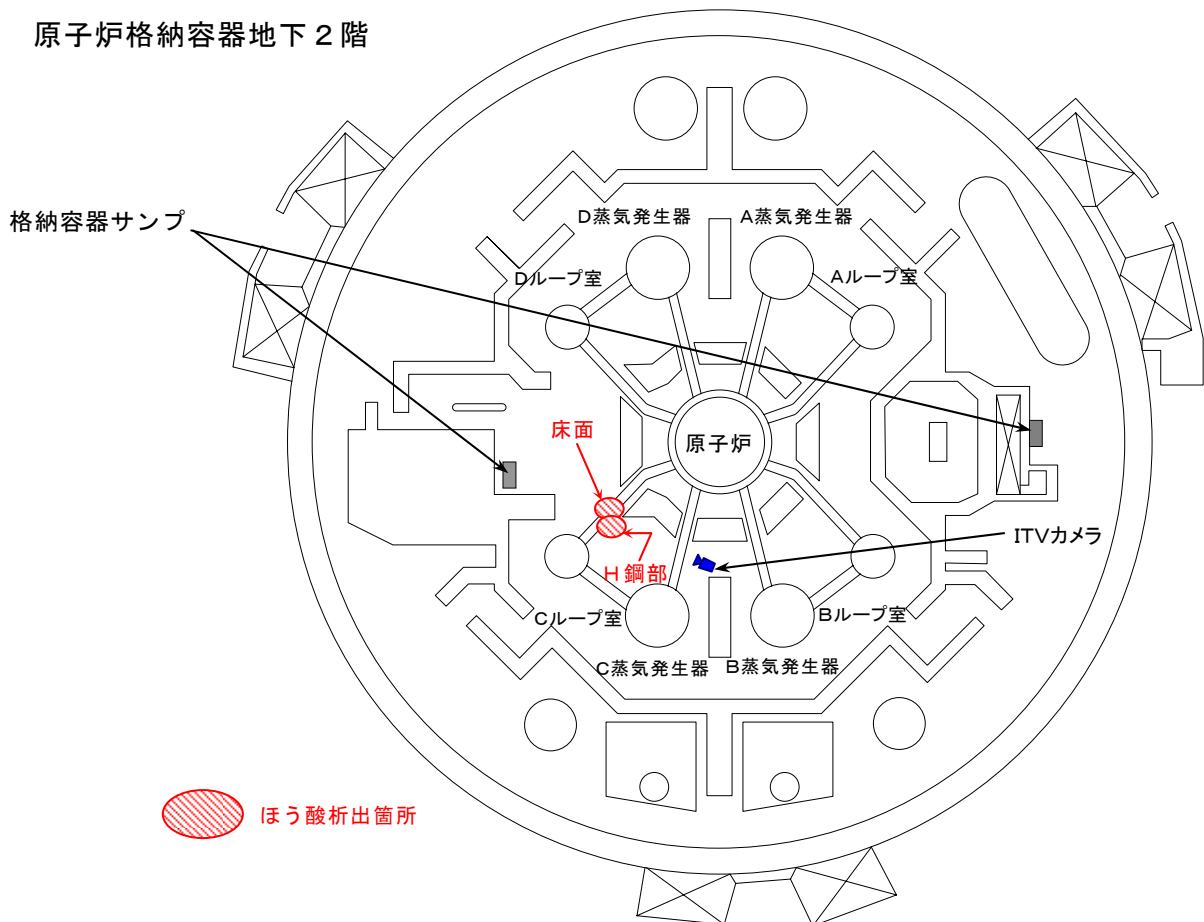
なお、この事象による環境への放射能の影響はない。

問い合わせ先(担当：伊藤) 内線2352・直通0776(20)0314
--

ほう酸析出箇所図



原子炉格納容器地下2階



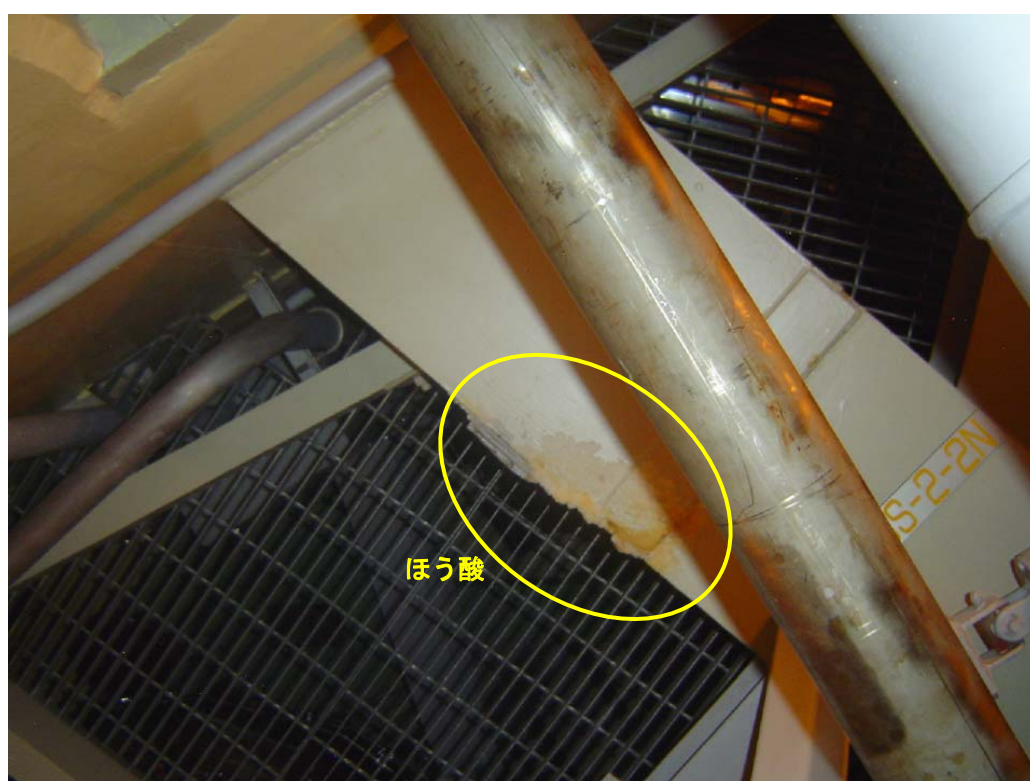
(参考) 敦賀発電所 2号機

原子炉格納容器内床面等でのホウ酸の発見

現 場 状 況 写 真



原子炉格納容器地下 2 階床面



上 部 H 鋼 部